

OSHA ハザードコミュニケーション規格に準拠した安全性データシート

Standard 29 CFR 1910:1200

商品名 : Vitralit 70321 改訂日 : 2022 年 8 月 22 日
版 : 3/US 発行日 : 2022 年 8 月 22 日
修正版 : 2/US

1. 製品および会社情報

1.1. 品名

BONDIC 5998443 / BD-SKCJ / BD-SKEJ / BD-SKGO / BD-CRJ

1.2 物質または混合物の適切な用途および推奨しない用途

特定用途

SU3 産業用途：工業現場での物質そのものの使用または調剤への使用

PC1 接着剤 シーラント剤

推奨しない用途

SU21 消費者用途：一般家庭(=民間人=消費者)

1.3 安全データシートの発行者

Laser Bonding Tech Inc

235 Industrial Pkwy S. #18

Aurora, ON L4G3V5 Canada

電話番号 855-668-2458

この安全データシート責任者メールアドレス support@bondicna.com

1.4 緊急連絡先

流出、漏出、火災、暴露、または事故に関連する緊急の場合

CHEMTREC：(0800)-424-9300

米国以外で発生した緊急の場合 +1-202-483-7616

2. 危険有害性の要約

2.1. 製品のGHS分類

OSHA ハザードコミュニケーション規格 29 CFR 1910 : 1200 による分類

急性毒性.4 : H302

急性毒性.5 : H313

眼に対する損傷.1 : H318

皮膚感作性.1 : H317

2.2 GHS ラベル要素

OSHA ハザードコミュニケーション規格 29 CFR 1910 : 1200 に準拠したラベリング

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

- H302 : 飲み込むと有害
H313 : 皮膚に接触すると有害のおそれ
H318 : 重篤な眼の損傷
H317 : アレルギー性皮膚反応を起こす恐れ

注意書き

安全対策

- P261 粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと
P264.1 取扱い後は手をよく洗うこと
P270 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと
P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること

応急措置

- P301+P312 飲み込んだ場合：気分が悪い時は、中毒事故管理センターまたは医師の診断を受ける。
P302+P352 皮膚に付着した場合：大量の水と石鹸で洗うこと
P305+P351+P338 目に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用している場合に外せる場合は外すこと。その後も洗い続けること。
P310 至急、中毒事故センターに連絡、または医師の診断/手当てを受けること
P330 口をすすぐこと
P333 皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること
P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること

保管・廃棄

- 501.1 内容物/容器を産業用焼却プラントに廃棄すること

2.3. その他の危険性 : 特別な危険性について言及する必要なし

3. 組成及び成分情報

OSHA ハザードコミュニケーション規格 29 CFR 1910 : 1200 に準拠した有害成分

N,N-ジメチルアクリルアミド

CAS No. 2680-03-7
濃度 >= 15 < 25 %

イソボルニルアクリレート

CAS No. 5888-33-5
濃度 >= 2,5 < 10 %

エチルフェニル(2,4,6-トリメチルベンゾイル)ホスフィナート

CAS No. 84434-11-7
濃度 >= 2,5 < 10 %

2-ヒドロキシ-2-メチルプロピオフェノン

CAS No. 7473-98-5
濃度 >= 1 < 3,3 %

4. 応急措置

4.1. 応急措置の説明

全般的な注意事項

汚染され、浸された服はすぐに脱ぎ、安全に廃棄すること。 応急処置を行うときは、個人の保護対策に従う。いかなる場合も、医師に安全データシートを提示する。

吸入した場合

新鮮な空気を確保する。影響を受けた者を危険区域から移動させる。蒸気を集中的に吸入した場合は、すぐに医師の診断を受けること

目に入った場合

流水でまぶたの裏まで念入りに洗い流すこと（15分）医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

直ちに医師の診断を受け、安全データシートを提示する。水で口をよくすすぐ。大量の水を少しづつ飲み込むようにする。無理に吐かせないこと。

応急処置を行うときは、個人保護対策を遵守

応急処置者：自己防衛に注意！

4.2 最も重要な症状と影響、急性と遅延

これまでに知られている症状はなし

4.3. 緊急の医療処置と特別な治療が必要な兆候

医師へのヒント・注意

嘔吐を伴う嚥下の場合、肺の吸引が起こり、化学肺炎または窒息を引き起こす可能性がある。

5. 火災時の措置

5.1. 消火剤

適切な消火剤 乾燥粉末、泡、二酸化炭素

不適切な消火剤 水噴射

5.2. 火災時の特有な危険有害性

危険なガスが燃焼する可能性

5.3. 消火作業員へのアドバイス

爆発や燃焼ガスを吸い込まないように、燃焼する場合は、適切な呼吸装置を使用し、完全な防護服を着用。

その他

汚染された消火用水は個別に収集し、排水溝に排出せず、火災残留物および汚染された消火用水は、関係法規に従って廃棄することが必要。 メーカー/販売者の指示に従う。

6 漏出時の措置

6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

蒸気/粉塵/エアゾールの影響がある場合は呼吸装置を使用する。 皮膚、目、衣服との接触を避ける。7 および8 に示している保護対策を参照する。

6.2. 環境に関する注意事項。

広範囲への拡散を防止する（例：封じ込む、もしくはオイルバリアによる）。 排水溝/地表水/地下水または下層土/土壤に排出しない。 汚染された洗浄水の保持と廃棄。 ガスが漏れたり、水路、土壤、排水溝に侵入した場合は、担当当局へ連絡する。

6.3. 封じ込め及び浄化方法・機材

吸収性素材で収拾する。汚染された床と物を水と洗剤で徹底的に拭き取り、環境規制を遵守する。 拭きとった

物質を収集した容器には適切なラベルを貼る。 吸収された物質は規制に従って廃棄する

6.4. 他の項を参照

項目 7 および 8 に掲載された保護対策を参照する。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1. 安全取扱注意事項

安全な取扱いの為のアドバイス

エアゾールの吸引を避ける。作業区域には十分な換気を保障されるべきである（必要に応じて、局所排気装置を使用）。化学物質の取り扱いに関する通常の注意事項に従う。容器はしっかりと密栓する。

7.2. 混触危険物質情報を含む安全な保管条件

保管と容器の要件

元の容器のまま密栓して保管する。保管室は適切に換気する必要がある。開封した容器は漏れを防ぐために慎重に再封し、直立させて保管する。耐溶剤性で不浸透性の地面に置く。

共同貯蔵に関する注意事項

食料品と一緒に保管しない。

保管条件に関する詳細情報。

熱や直射日光を避け、容器をしっかりと閉じ、換気の良い乾燥した冷暗所で保管する。また施錠し、子供の手の届かないところに保管する。TDS（技術データシート）の注意事項を守る。

8. 暴露防止および保護措置

8.1. 管理パラメーター

その他の情報

それ以外の制御パラメーターは知られていない。

8.2. 暴露制御

一般的な保護および衛生対策。

洗眼用噴水栓を用意する。ガス/蒸気/エアゾールを吸い込まない。皮膚や目との接触を避ける。作業中は飲食、喫煙をしない。作業室での食料品の保管は禁止。休憩前や作業後に手を洗う。作業後に皮膚を完全にきれいにし、スキンクリームを塗る。

呼吸用保護具

換気が十分でない場合は、適切な呼吸保護具を着用すること。短期間：フィルター装置、フィルターA：暴露限界を超える可能性がある場合は、NIOSH（国立労働安全衛生研究所）承認の呼吸機器を使用すること。この物質が高温で取り扱われる場合、または工学的制御なしにミストが形成される条件下で取り扱われる場合、NIOSH承認の呼吸装置を使用する必要がある。

手の保護具

耐薬品性手袋

使用 短期間の手の接触

適した材料 ニトリル

材料の厚さ $\geq 0,4$ mm

浸透時間 > 480

目の保護具

サイドガード付き保護眼鏡。フェイスシールド。

身体保護具

化学産業で使う一般的な衣服。安全靴

9. 物理的及び化学的性質

状態	: 液体
色	: 無色
臭気	: 特徴的
臭気限界	: 情報を有していない
pH値	: 情報を有していない
融点	: 情報を有していない
氷点	: 情報を有していない
沸点	: 情報を有していない
引火点	: > 100 °C
蒸発率 (エーテル = 1)	: 情報を有していない
引火性 (個体・ガス)	: 情報を有していない
燃焼又は爆発範囲の上限下限	: 情報を有していない
蒸気圧	: 情報を有していない
蒸気密度	: 情報を有していない
密度	: 約 1, 1 g/cm ³
温度	: 25°C
溶解度 (水)	: 情報を有していない
溶解度	: 情報を有していない
n-オクタノール/水分配係数	: 情報を有していない
発火点	: 情報を有していない
分解温度	: 情報を有していない
粘着性	: 情報を有していない
爆発性	: 情報を有していない
酸化性	: 情報を有していない

9.2. その他の情報

情報を有していない

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性

規定の指示に従って保管および処理した場合、危険な反応なし

10.2. 化学的安定性

危険な反応は知られていない

10.3. 危険反応の可能性。

危険な反応は知られていない

10.4. 避けるべき条件

危険な反応は知られていない

分解温度

情報を有していない

10.5. 適合しない材料

情報を有していない

10.6. 危険有害な分解生成物

有毒ガス/蒸気、刺激性ガス/蒸気

11. 有害性情報

11.1 毒性学的影響に対する情報

米国国家毒性プログラム (NTP)

本製品にリストされている成分は含まれていない。

国際がん研究機関 (IARC)

本製品にリストされている成分は含まれていない。

急性毒性 経口

ATE 1.737,54mg/kg

87

方式 GHSに基づいて計算された値 (例: UN GHSを参照)

急性毒性 経口 (成分)

N,N-ジメチルアクリルアミド

種類 ラット

LD50 316 mg/kg

N,N-ジメチルアクリルアミド

種類 マウス

LD50 460 mg/kg

2-ヒドロキシ-2-メチルプロピオフェノン

種類 ラット

LD50 1694 mg/kg

急性毒性 皮膚

ATE 2.883,33

方式 33

GHSに基づいて計算された値 (例: UN GHSを参照)

急性毒性 皮膚 (成分)

N,N-ジメチルアクリルアミド

種類 ラビット

LD50 519 mg/kg

2-ヒドロキシ-2-メチルプロピオフェノン

種類 ラット

LD50 6929 mg/kg

急性毒性 吸入

特記事項 情報有していない

急性毒性 吸入（成分）

N,N-ジメチルアクリルアミド

種類 ラット

LD50 0,67 mg/l

皮膚腐食性/刺激性

特記事項 情報有していない

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

特記事項 情報有していない

感作性

特記事項 情報有していない

感作性（成分）

2-ヒドロキシ-2-メチルプロピオフェノン

暴露経路 皮膚

種類 モルモット

評価 感作なし

亜急性、亜慢性、慢性毒性

情報有していない

変異性

情報有していない

生殖毒性

情報有していない

発がん性

情報有していない

特定標的臓器毒性（STOT）

情報有していない

実地で得た経験

吸入すると、気道が刺激される場合がある

その他の情報

毒性情報なし

12. 環境影響情報

12.1 毒性

一般情報

情報有していない

魚毒性 (成分)

2-ヒドロキシ-2-メチルプロピオフェノン

種類	golden orfe (<i>Leuciscus idus</i>)		
LC 50	160	mg/l	
暴露時間	48	時間	

ミジンコ毒性 (成分)

2-ヒドロキシ-2-メチルプロピオフェノン

種類	<i>Daphnia magna</i>		
EC 50	>	119	mg/l
暴露時間	48	時間	

藻類毒性 (成分)

2-ヒドロキシ-2-メチルプロピオフェノン

種類	<i>Scenedesmus subspicatus</i>		
EC 50	1,95	mg/l	
暴露時間	72	時間	

2-ヒドロキシ-2-メチルプロピオフェノン

種類	<i>Scenedesmus subspicatus</i>		
EC 10	0,629	mg/l	
暴露時間	72	時間	

12.2 残留性と分解性

一般情報

情報有していない

12.3. 生体蓄積性

一般情報

情報有していない

分配係数: n-オクトナール/水分

情報有していない

12.4 土壌中の移動性

一般情報

情報有していない

12.5. PBT 物質と vPvB 物質の評価

一般情報

情報有していない

12.6. その他悪影響

一般情報

情報有していない

一般情報 / 自然環境

土壌、水路、または排水路へ放ってはいけない。また大気中への放出も避ける。

13. 廃棄上の注意

13.1. 廃棄物の処理方法

製品の廃棄

適用される法律に従って廃棄物を処分すること。

梱包の廃棄

容器などは、地域の廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

14. 輸送上の注意 * * *

陸上運送 DOT * * *

14.1 UN 番号

UN 3082

14.2 正式品名

環境有害物質（液体）

14.3 危険物輸送クラス

クラス 9

ラベル 9

14.4 容器等級

容器等級 III

特記する事項 5 l /5kg 以下の梱包で、ADR の他の規定には該当しない (SP375)

許容容量 5 l

輸送カテゴリー 3

一般貨物（危険物ではない）

海上輸送 IMDG/GGVSee

14.1 国連番号

UN 3082

14.2 正式品名

環境有害物質（液体）

14.3 危険物輸送クラス

クラス 9

14.4 容器等級

容器等級 III

特記する事項 IMDG コード 2.10.2.7 項に従い、5l・5kg 以下の包装で輸送可能

14.5 環境有害物質

海洋汚染物質

航空輸送（ICAO/IATA）

14.1 国連番号

UN 3082

14.2 正式品名

環境有害物質（液体）

14.3 危険物輸送クラス

クラス 9

14.4 容器等級

容器等級 III

特記する事項 5 l /5kg 以下の梱包で、ADR の他の規定には該当しない（A197）

14.5 環境有害物質 航空輸送に際する有害物質

15. 適用法令

該当純物質または混合物に対する安全、衛生及び環境規制・法律

その他の情報

すべての成分は TSCA インベントリーに含まれているか、免除されている

すべての成分は、DSL インベントリーに含まれている。

すべての成分は、IECSC インベントリーに含まれている。

すべての成分は、ECL インベントリーに含まれている。

US EPA Emergency Planning and Community Right-To-Know Act (EPCRA) SARA（緊急計画及び地域の知る権利に関するアメリカの法律） タイトルIII 項目 302 非常に危険な物質（40 C F R 355）

製品にはリストに記載されている成分は含まれていない。

US EPA Emergency Planning and Community Right-To-Know Act (EPCRA) SARA（緊急計画及び地域の知る権利に関するアメリカの法律） タイトルIII 項目 313 有害化学物質（40 C F R 372.65） - サプライヤー通知要

製品には、リストされている成分は含まれていない

Clean Water Act（水質浄化法）（CWA）項目 307 有害汚染物質（40CFR 401.15）

製品には、リストされている成分は含まれていない

Clean Water Act（水質浄化法）（CWA）項目 311 有害汚染物質（40CFR 116.4）

製品には、リストされている成分は含まれていない

Clean Air Act（大気清浄化法）（CAA）項目 112 偶発的放出防止のための規制毒物と閾値量（40 CFR 68.130）

Table 1+2)

製品には、リストされている成分は含まれていない

Clean Air Act (大気清浄法) (CAA) 項目 112 偶発的放出防止のための規制された可燃性物質と閾値量 (40CFR 68.130 Table 3+4)

製品には、リストされている成分は含まれていない

California Safe Drinking Water and Toxic Enforcement Act (Proposition 65) (米国カリフォルニア州「プロポジション 65」発ガン性物質リスト)

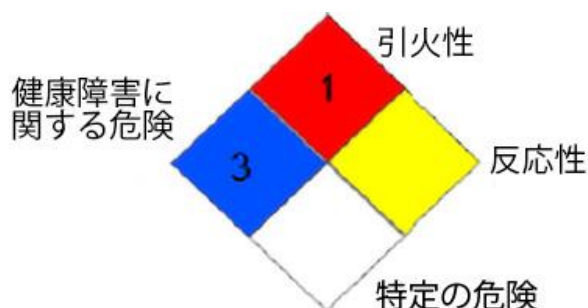
警告！ この製品には、カリフォルニア州で癌および/または生殖毒性を引き起こすことが知られている微量の物質が含まれている可能性がある。 - 製剤の一部ではなく、原料サプライヤーの製造過程からの残留物として残っている。

NFPA Rating (NFPA (全国防火協会)システム)

Flammability

製品には、リストされている成分は含まれていない

製品には、リストされている成分は含まれていない



HMIS®レーティング情報

健康障害に関する危険	3
引火性	1
身体的危険	
身体保護	

16. その他の情報

安全データシートを発行する部署

Department product safety (商品安全部)

付記事項

以前のバージョンの安全データシートと比較して関連する変更には、次のマークが付いています。*** この情報は、現在の知識に基づいています。なお、こちらは特定の製品特性を保証するものではなく、法的に有効な関係を確認するものではありません。